

## 総目次（第 11 号～第 29 号）

大学院紀要『BRÜCKE』の第 11 号（1998 年 5 月発行）から第 29 号（2016 年 6 月発行）までの総目次を掲載いたします。総目次は第 10 号に掲載されたのを最後に途切れたままになっており、今回は実に 20 年ぶりの継承となりました。つきましては獨協大学大学院を修了された先輩諸氏の懐古の機会にも、ご高覧いただければと思います。

### \* 第 11 号（1998 年 5 月） \*

巻頭言 存在感としてのドイツ	亀谷 敬昭	i
〈研究報告〉		
ドイツ語構文解析の基本設計 ―テキスト処理にむけて―その 1	住大 恭康	3
Korrekturen aus der Lernerperspektive - Versuch zum besseren Verständnis des Lernprozesses im Fremdsprachenunterricht	Makiko HOSHII (星井 牧子)	37
„Verfassungspatriotismus“ und nationale Identität	Hiroimi IGARI (猪狩 弘美)	63
〈研究ノート〉		
ドイツ国防軍の NATO 域外派兵決定をめぐる論議	三浦 まどか	77
Ernst Kutzer als Kriegsmale	Noriko SHINDO (新藤 紀子)	83
〈1997 年度提出修士論文要旨〉		
Die Geschichte des deutschen Abtreibungsgesetzes nach dem zweiten Weltkrieg - Von der Indikationenlösung zur Fristenlösung	Mika ISHIMARU (石丸 美佳)	103
Einige Anmerkungen zu den ritterlichen Elementen im >Gregorius<		

.....	Yuichiro KATO (加藤 雄一郎)	109
Vergleich von „Wahrscheinlichkeit“ ausdrückenden Adverbien im Deutschen und Japanischen .....	.....	
.....	Michiru NISHIBE (西部 みちる)	115
1998 年度ドイツ語学専攻関連開設科目 .....		121
「BRÜCKE の会」会則 .....		125
編集後記 .....	関 徹雄	127

**\* 第 12 号 (1999 年 7 月) \***

巻頭言 .....	鳥海 金郎	i
〈研究報告〉		
命題における指示 — 個体指示 vs. 種の指示 — .....	住大 恭康	3
Schulbuchkontroverse um die Geschichtsdarstellung in Japan .....		
.....	Hiromi IGARI (猪狩 弘美)	45
〈研究ノート〉		
ドイツ語の味覚を表す形容詞についての予備考察 .....	美藤 英行	61
〈1998 年度提出修士論文要旨〉		
Kontroversen um den Einsatz der Bundeswehr „Out-of-Area“ .....		
.....	Madoka MIURA (三浦 まどか)	85
〈寄稿 研究ノート〉		
一語文に見る言語発達 — 幼児の言語観察を手がかりに — .....	栗原 さよこ	93
Ernst Kutzer als Gebrauchsgraphiker		
- Ein Versuch, eine Liste der Gebrauchsgraphiken Ernst Kutzers anzulegen ·		
.....	Noriko SHINDO (新藤 紀子)	119
投稿規定概略 .....		139
編集後記 .....	関 徹雄	141

**\* 第 13 号 (2000 年 5 月) \***

巻頭言	中島 悠爾	i
<b>〈研究報告〉</b>		
日独慣用句研究における従来の研究の問題性と解決の方向性	吉羽 里恵	3
ルクセンブルク補償協定の成立過程とその意義	前田 直子	37
自然言語処理におけるアナファ処理 —テキスト処理にむけて—その 2		
	住大 恭康	57
<b>〈研究ノート〉</b>		
ハンス・モムゼン『『失われた歴史』を求めて？		
—連邦共和国の歴史的自己理解について—【翻訳】	猪狩 弘美	95
ヘーゲル『エンチュクロペディー』における言語に関する		
記述についての覚え書	石田 雄啓	117
ドイツにおけるナチス犠牲者への補償の前段階		
—アメリカ占領地区を中心に—	小場 麻衣子	129
<b>〈1999 年度提出修士論文要旨〉</b>		
Nationalsozialistische Vergangenheit und Geschichtsauffassung		
in der Bundesrepublik Deutschland - „Historikerstreit“ und seine Hintergründe		
	Hiromi IGARI (猪狩 弘美)	143
Den Geschmack bezeichnende Adjektive im Japanischen und Deutschen		
	Hideyuki BIDO (美藤 英行)	151
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略		157
編集後記	船戸 満之	159

**\* 第 14 号 (2001 年 5 月) \***

巻頭言	バツハ音楽の明るさと楽しさ	関 徹雄	i
<b>〈研究報告〉</b>			
慣用句成立の根拠に関する予備的考察			
—比喩と慣用句の「具象性」—			
		吉羽 里恵	3

シャミッソー、ホフマン、エーヴェルス 三作品におけるグロテスクな側面	南 はるつ	25
旧東ドイツ地域における極右問題の背景 —非ナチ化政策と SED 体制を中心として—	村田 晃	49
<b>〈研究ノート〉</b>		
ルクセンブルク協定の成立過程における SPD の動き	前田 直子	63
イントネーション表記法	大山 直子	73
幼児期の子どもにおける前言語的発達 —喃語と初語間の発話に見られる諸要素—	能登 慶和	85
<b>〈2000 年度提出修士論文要旨〉</b>		
Entschädigungsproblem in der amerikanischen Besatzungszone zur Zeit der Besatzung	Maiko Koba (小場 麻衣子)	99
Der Vergleich zwischen der Bundesrepublik Deutschland und Japan beim Abschluß des Luxemburger Abkommens und des Vertrages zwischen Japan und Republik Korea	Naoko Maeda (前田 直子)	105
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略		111
編集後記	酒井 府	113

**\* 第 15 号 (2002 年 5 月) \***

巻頭言	川島 淳夫	i
<b>〈研究報告〉</b>		
ドイツ語動詞 <i>folgen</i> と日本語対応語の対照比較 —日本語教育の観点から—	吉羽 里恵	3
シャミッソー、ホフマン、エーヴェルスの三作品における グロテスクな側面 II	南 はるつ	37
クライストが願う国家 —小説『ミヒャエル・コールハース』についての一考察—	山形 敦	57
<b>〈研究ノート〉</b>		

マックス・ピカートの研究 眼差しから表現へ……………塚部 祐子	75
ドイツ語における接頭辞 ver-の意味について……………津山 彩子	91
<b>〈2001 年度提出修士論文要旨〉</b>	
日本人ドイツ語学習者に見られる文イントネーション上の問題点……………	
……………大山 直子	105
生後2年目におけるある子どもの「原語」と「初期の語」……………能登 慶和	113
Die Identitätsprobleme im gegenwärtigen deutschen	
Rechtsradikalismus und Rechtsextremismus……………Akira MURATA (村田 晃)	119
<b>〈寄稿 研究ノート〉</b>	
「戦後補償」の現場から……………前田 直子	127
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略……………	147
編集後記……………酒井 府	149

**\* 第16号 (2003年5月) \***

巻頭言……………酒井 府	i
<b>〈研究報告〉</b>	
ドイツロマン派におけるデモーニッシュな要素	
E. T. A. ホフマン作『スキュデリー嬢』の考察……………南 はるつ	3
近代社会とエスニシテイ	
—近代ドイツ語圏社会とユダヤ人を中心に—……………村田 晃	29
„adverbaler Dativ (動詞付随的3格)“に基づく	
動詞分類に関する一考察……………吉羽 里恵	45
経験者を表す与格と対格の用法	
—なぜ経験者格は与格・対格で表されるのか—……………板垣 倫朗	79
初期ニーチェにおけるショーペンハウアーの影響……………久保田 恵子	97
日本人ドイツ語学習者にみられる単音の音声実現について	
—ドイツ語の語末 ⟨n⟩ における問題点—……………瀬戸 亜弥	119
<b>〈研究ノート〉</b>	

親称 du と敬称 Sie

—ドイツ語対称詞に反映する相対的・心的距離のあり方—……………土田 岳 145

〈2002 年度提出修士論文要旨〉

Max Picard, als ein Schriftsteller mit einem expressionistischen Charakter……………

…………… Yuko TSUKABE (塚部 祐子) 165

現代ドイツ語における接頭辞 *ver-*を伴う動詞の

意味論・統語論による考察……………津山 彩子 169

Über Heinrich von Kleist und seine Erzählung „Michael Kohlhaas“……………

…………… Atsushi YAMAGATA (山形 敦) 175

「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略……………181

編集後記……………船戸 満之 184

**\* 第 17 号 (2004 年 5 月) \***

巻頭言 思想信条の自由を巡って……………酒井 府 i

〈研究報告〉

ワロン、ピアジェ、ヴィゴツキーに見る知能と言語の発達……………能登 慶和 3

クライストの小説『拾い子』のニコロについて

—『人形芝居』との関連性—……………山形 敦 23

Korpusanalyse und Norm - Perfektbildung des Verbs folgen……………

…………… Rie YOSHIBA (吉羽 里恵) 45

ドイツロマン派におけるデモーニッシュな要素

E. T. A. ホフマン作『スキュデリー嬢』の考察 II……………南 はるつ 65

ドイツ語女性蔑視呼称に関する一考察 —意味特徴を中心に—……………土田 岳 75

ドイツ国籍法改正の経緯……………前田 直子 105

〈研究ノート〉

特定の動詞の日独対照研究に関するメモ……………上部 雄一 135

笑いについてのメモ……………笹原 恵 155

西側連合国のドイツ・オーストリア「中立化」構想

—スターリン・ノートと「短縮条約」を中心に— ……藤原 克己 169

〈2003 年度提出修士論文要旨〉

Verbbestimmer Dativ und Akkusativ - Unterschied zwischen dem Dativ

und dem Akkusativ für den japanischen Deutschlerner ……

…………… Michiaki ITAGAKI (板垣 倫朗) 197

Über die Aufklärung bei Nietzsche in den Werke

seiner mittleren Schaffensperiode …… Keiko KUBODA (久保田 恵子) 205

日本人ドイツ語学習者の単音レベルにおける母語干渉

—調音音声学の観点から— ……瀬戸 亜弥 211

「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略 ……219

編集後記 ……船戸 満之 222

**\* 第 18 号 (2005 年 5 月) \***

巻頭言 ……船戸 満之 i

〈研究報告〉

Wann und wie gewinnt ein Gegenstand Objektpermanenz beim kleinen Kind?…

……………Yoshikazu NOTO (能登 慶和) 3

クライストの『チリの地震』と『拾い子』を読む ……山形 敦 17

選択制限に基づく与格動詞分類の試み ……吉羽 里恵 39

手話は母語として習得されるべき言語である ……井上 由布子 65

初期ケストナーの抒情詩

—《間接的な抒情詩 (Indirekte Lyrik)》という概念を中心に— ……高坂 朋子 87

〈研究ノート〉

少子高齢社会における「正統性」の維持と移民の需要 ……村田 晃 107

〈2005 年度提出修士論文要旨〉

Bildungsprozeß der immerwährenden Neutralität in Österreich ……

…………… Katsumi FUJIWARA (藤原 克己) 123

〈寄稿 研究ノート〉

ドイツ移民法改正について .....	前田 直子	135
ドイツ、ギムナジウムにおける日本語教育 —体験的報告— .....	柳坪 幸佳	145
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略 .....		155
編集後記 .....	下川 浩	158

**\* 第 18 号 別冊 (2005 年 5 月) \***

〈博士学位論文〉

不定冠詞付き名詞句の多様な解釈とテキストの整合性による脱曖昧化 .....	住大 恭康	
---------------------------------------	-------	--

**\* 第 19 号 (2006 年 5 月) \***

巻頭言 .....	諏訪 功	i
-----------	------	---

〈研究報告〉

Kognitive Entwicklung beim Säugling?		
- aus der Perspektive des Geschmacksinns .....	Yoshikazu NOTO (能登 慶和)	3
操り人形に見られるクライストとホフマンの近親性 .....	山形 敦	23
ドイツ語母語話者に対する日本語教育 (日本語助動詞の視点から) .....		
.....	小黒 晴美	45
「与格動詞個別研究」に向けて .....	吉羽 里恵	69

Internationale Fremdwörter? - Überlegungen zur Möglichkeit

der Wortschatzerweiterung für japanische Deutschlernende .....		
.....	Miwako ODA (小田 美和子)	87

イロニーについての一考察 .....	松井 芽久美	111
--------------------	--------	-----

〈2005 年度提出修士論文要旨〉

Die Struktur der Gebärdensprache - Ein Vergleich der japanischen Gebärdensprache		
und der deutschen Gebärbesprache .....	Yufuko INOUE (井上 由布子)	135
Erich Kästners frühe Lyrik und der Begriff „Indirekte Lyrik“ .....		
.....	Tomoko TAKASAKA (高坂 朋子)	139



Vergleich zwischen japanischen und deutschen transitiven Verben mit nicht menschlicher [-HUM] Konstituente als Subjekt und menschlicher [+HUM] Konstituente als Akkusativobjekt .....	Yuichi UWABE (上部 雄一)	143	
Über das Demonstrativpronomen <i>dieser</i> - Funktion und Einfluss auf.....	die Folgerungen des Adressaten .....	Megumi SASAHARA (笹原 恵)	149
〈寄稿 研究ノート〉			
Über eine chinesische Demonstration gegen Japan .....	Naoko MAEDA (前田 直子)	153	
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略 .....		165	
編集後記 .....	柿沼 義孝	168	

**\* 第 20 号 (2007 年 5 月) \***

巻頭言 .....	小島 康男	i
〈研究報告〉		
幼児の言語習得過程における一考察		
一言語入力、オノマトペ、模倣の作用 .....	能登 慶和	3
人形劇の歴史に照らし合わせたクライストの『操り人形劇場論』 .....	山形 敦	17
1955 年オーストリア国家条約と「犠牲者としての立場」 .....	藤原 克己	37
手話の複合文 .....	井上 由布子	65
バーデン・ヴュルテンベルク州の「国籍取得テスト」をめぐって .....	前田 直子	81
〈研究ノート〉		
1960 年代ドイツの外国人労働者募集協定におけるトルコの位置付け .....	村田 晃	135
〈2006 年度提出修士論文要旨〉		
日本語を母語とするドイツ語学習者のための		
効率的語彙学習に関する一考察 .....	小田 美和子	161
Das Romantische bei E. T. A. Hoffmann		
- Eine Analyse von „Der goldne Topf“ .....	Megumi MATSUI (松井 芽久美)	169

「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略	175
編集後記	柿沼 義孝 178

**\* 第 21 号 (2008 年 5 月) \***

巻頭言	増谷 英樹 i
<b>〈研究報告〉</b>	
クライストと音楽 —試論—	山形 敦 3
ブルーノ＝クライスキーと「積極中立」—転換から展開へ—	藤原 克己 21
YY-NOSYS 手話の表記法	井上由布子 45
自己意識の形成と自己表示表現の習得 —予備的考察—	能登 慶和 61
Fremdsprachenlernen mit Medien - Eine empirische Studie	
..... Masumi YAMAGUCHI (山口 ますみ)	85
„Der Sandmann“におけるロマン的なもの	
—„Der goldne Topf“と対比して—	松井 芽久美 119
<b>〈研究ノート〉</b>	
ドイツ・トルコ雇用双務協定締結期間におけるトルコ人	
ガストアルバイターについて	村田 晃 141
ドイツにおける移民政策の成り立ちと受入れ体制の変化	前田 直子 157
<b>〈寄稿研究報告〉</b>	
ドイツ語の発音カナ表記をめぐる音響音声学的観点からの一考察	伊藤 直子 197
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略	217
編集後記	柿沼 義孝 220

**\* 第 22 号 (2009 年 5 月) \***

巻頭言	渡部 重美 i
<b>〈研究報告〉</b>	
ドイツの外国人政策 —1970 年代の統合構想について—	前田 直子 3
ケストナーの処女詩集 „Herz auf Taille“ の戦争諷刺詩と	

その特徴に関する考察	高坂 朋子	41
心態詞に関する予備的考察	大平 葉子	77
Zum Wort-Ton-Verhältnis in der Trinitatismesse (KV 167) von W. A. Mozart und der h-Moll-Messe (BWV 232) von J. S. Bach		
	Erika OGIHARA (荻原 絵里香)	101
Lektüreunterricht an japanischen Hochschulen		
- Rückblick auf die 1950-80er Jahre	Shiro KATTO (甲藤 史郎)	129
E. T. A. Hoffmann の幻想世界に関する一考察		
—Eichendorff と比較して—	松井 芽久美	165
〈研究ノート〉		
記憶の体系と言語習得および学習における要因	能登 慶和	191
Hörverstehen in der Fremdsprache - Eine Unterrichtssimulation		
	Masumi YAMAGUCHI (山口 ますみ)	209
〈寄稿 翻訳〉		
音楽の都 ウィーン	増谷 英樹	237
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略		263
編集後記	林部 圭一	266

**\* 第 23 号 (2010 年 5 月) \***

巻頭言 (Vorbemerkung)	Hans-Hartmut GÄTHKE	i
〈研究報告〉		
『五階で行われるカバレットの枠筋』 „Eine Rahmenhandlung für ein Kabarett im vierten Stock“ におけるケストナーの 諷刺に関する考察		
	高坂 朋子	3
日本語の思考動詞「思う」とドイツ語の思考動詞に関する考察		
	大平 葉子	35
Zum Wort-Ton-Verhältnis in der Trinitatismesse (KV 167) und der Krönungsmesse (KV 317) von W. A. Mozart sowie der Harmoniemesse		

(Hob. XXII: 14) von J. Haydn .....	61
..... Erika OGIHARA (荻原 絵里香)	
Die Darstellung des christlichen Gottes im „Willehalm“	
von Wolfram von Eschenbach .....	Makoto OKUBO (大久保 真) 121
Die Rolle der abnehmenden Tarifbindung bei der Entwicklung	
der Niedriglohnbeschäftigung in Deutschland .....	Houketsu SAI (崔 芳浩) 149
ホフマンの幻想作品における両世界の住人に関する一考察	
— „Prinzessin Brambilla.“ を中心に — .....	松井 芽久美 181
<b>〈2009 年度提出博士論文要旨〉</b>	
戦後ドイツの移民統合政策の変遷と「専門官」 .....	前田 直子 205
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略 .....	251
編集後記 .....	矢羽々 崇 254

**\* 第 24 号 (2011 年 6 月) \***

巻頭言 .....	小島 康男 i
<b>〈研究報告〉</b>	
ケストナーの初期四詩集から „男と女“ に関する詩の考察 .....	高坂 朋子 3
Höflichkeit / Politeness - Theoretische Ansätze von Richard J. Watts	
.....	Tatsuhiko YOSHIDA (吉田 達彦) 27
Liebe, Familienbeziehung und Taufe. Der Glaubenswechsel	
von Gyburg / Arabel und die „Schonung“ der Andersgläubigen	
im „Willehalm“ von Wolfram von Eschenbach .....	
.....	Makoto OKUBO (大久保 真) 53
Zur Lernerautonomie bei japanischen Oberschülern .....	
.....	Masumi YAMAGUCHI (山口 ますみ) 81
<b>〈研究ノート〉</b>	
Friedrich Nicolais „Vertraute Briefe von Adelheid B**	
an ihre Freundin Julie S***“ .....	Masayasu IWAI (岩井 昌康) 101

ベルリン・ノイケルン地区における移民統合危機 —2006年春のリュトリー基幹学校事件を例にして—	佐藤 友香	115
<b>〈2010年度提出修士論文要旨〉</b>		
Zum Wort-Ton-Verhältnis in den Messen W. A. Mozarts	Erika OGIHARA (荻原 絵里香)	133
Lernerkompetenzen und projektorientiertes Lernen	Shiro KATTO (甲藤 史郎)	141
Tarifsystem in einer globalisierten Welt		
- Deutschland und China im Vergleich	Houketsu SAI (崔 芳洁)	149
論文査読・審査員一覧		157
「BRÜCKEの会」会則・投稿規定概略		158
編集後記	黒田 多美子	161

**\* 第25号 (2012年6月) \***

巻頭言	増谷 英樹	i
<b>〈研究報告〉</b>		
エーリヒ・ケストナーのカバレット作品における他の作家の作品を 下敷きにした風刺的表現について	高坂 朋子	3
Zur Erforschung der Manifestation von Höflichkeit im Gespräch	Tatsuhiko YOSHIDA (吉田 達彦)	21
Das Lied von Felix Mendelssohn Bartholdy. Die Analyse von vier Frühlingsliedern	Riho IGUCHI (井口 理穂)	51
初期シラーの演劇論における中庸的な思想	丸山 達也	81
<b>〈研究ノート〉</b>		
グリム童話の「白雪姫」における死の解釈 —5回の死と個々のモチーフの意味について—	山口 佳那子	113
<b>〈2011年度提出修士論文要旨〉</b>		
Die Schonungsrede Gyburgs im „Willehalm“. Ihre verwandtschaftliche		

und religiöse Begründung .....	Makoto OKUBO (大久保 真)	133
現代ベルリンの移民統合政策をめぐる実践と問題点		
—ノイケルン地区を中心に— .....	佐藤 友香	139
Fremdsprachen Lernen mit audio-visuellen Medien .....		
.....	Masumi YAMAGUCHI (山口 ますみ)	145
〈創刊 25 周年特別企画 『BRÜCKE』 —その創刊意義を振り返る—〉		
Das ist doch Quatsch ist das! .....	岩崎 英二郎	155
翻訳のすすめ .....	川島 淳夫	157
『BRÜCKE』と Die Brücke .....	酒井 府	159
2012 年『BRÜCKE』第 25 号に寄せて .....	関 徹雄	161
万延元年の衝撃 .....	船戸 満之	163
『BRÜCKE』という誌名について .....	岩井 昌康	165
『BRÜCKE』創刊 25 周年に寄せて .....	金井 満	167
『BRÜCKE』をめぐるいくつかの場面 .....	山本 淳	169
論文査読・審査員一覧 .....		173
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略 .....		174
編集後記 .....	Angelika WERNER	177

## \* 第 26 号 (2013 年 7 月) \*

巻頭言 .....	下川 浩	i
〈研究報告〉		
Ethnomethodologische Analyse zur (Re)Konstruktion des Wissens		
von Höflichkeit im Gespräch .....	Tatsuhiko YOSHIDA (吉田 達彦)	3
Artikelfehler bei japanischen Deutschlernenden .....		
.....	Saki EMURA (江村 早紀)	33
パリ国立図書館所蔵黙示録写本		
『ネーデルラント 3 番 néerlandais 3』研究 .....	久保 みなせ	57
〈研究ノート〉		

Zur Anwendung des Konzepts ‚vorgestellte Gemeinschaften‘ auf Versuche der Sprachrevitalisierung……………	Kensuke OKAMURA (岡村 健介)	89
Der Forschungsstand zu Fehler- und Fehlerkorrektur Einstellung ……………	…………… Yukiko MITA (三田 有希子)	107
<b>〈2012 年度提出修士論文要旨〉</b>		
Friedrich Schillers „mittleres“ Denkmuster als Basis seiner theoretischen Schriften……………	Tatsuya MARUYAMA (丸山 達也)	127
Der Tod in Grimms Märchen……………	Kanako YAMAGUCHI (山口 佳那子)	131
<b>〈寄稿〉</b>		
(特別寄稿) 外国語学研究所ドイツ語学専攻を辞するにあたって……………	…………… 石丸 昭二	137
ヤーコプ・グリム「ドイツポエジーと歴史の 全ての友人に対する要請」(1811年)【試訳】……………	山口 佳那子	141
論文査読・審査員一覧……………		151
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略……………		152
編集後記……………	柿沼 義孝	155

**\* 第 27 号 (2014 年 5 月) \***

巻頭言……………	上田 浩二	i
<b>〈論文〉</b>		
『群盗』について —フランツ・モールの二重の役割—……………	丸山 達也	3
Sprachvitalität als Schlüssel zur erfolgreichen sorbischen Sprachrevitalisierung · ……………	Kensuke OKAMURA (岡村 健介)	31
カーニバルによる社会批判 —ブレヒト作「死んだ兵士の 伝説 (Legende vom toten Soldaten)」について—……………	永野 一葉	57
Ungesteuerter Wortschatzerwerb……………	Mai NEGAMI (根上 真依)	83
<b>〈2013 年度提出修士論文要旨〉</b>		
Das Lied von Felix Mendelssohn Bartholdy im Vergleich mit dem Lied		

der Berliner Liederschule am Beispiel von Liedern über das Thema „Frühling“	Riho IGUCHI (井口 理穂)	105
日本人ドイツ語学習者が冠詞を使用する際の問題点について	江村 早紀	113
論文査読・審査員一覧		123
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略		124
編集後記	編集委員会	127

**\* 第 28 号 (2015 年 5 月) \***

巻頭言 「ドイツ語学専攻」の目標は?	高橋 輝暁	i
<b>〈論文〉</b>		
Zur <i>Räuber</i> -Rezeption seit den 60er Jahren		
	Tatsuya MARUYAMA (丸山 達也)	3
<b>〈研究ノート〉</b>		
Einige Aspekte des Wortschatzerwerbs		
- Umfrage bei Deutschstudierenden und Betrachtung zum muttersprachlichen Erwerb	Kohsuke KAWAHARA (川原 宏友)	35
1980 年代における西ドイツの労使関係		
—賃金引上げ及び労働時間短縮をめぐる—	保坂 千鶴子	53
<b>〈2014 年度提出修士論文要旨〉</b>		
言語復興の可能性としての想像の共同体		
—ソルブ学校における言語実践とアイデンティティ—	岡村 健介	77
Bertolt Brecht, Moritat von Nicht-Genannten		
- Der Tod in „Hauspostille“	Kazuha NAGANO (永野 一葉)	87
日本人ドイツ語学習者における語彙習得について		
—Fokus auf das Wort—	根上 真依	91
誤答に対するフィードバック —ドイツ語授業の会話分析—	三田 有希子	99
<b>〈寄稿〉</b>		
カント「啓蒙とは何か」試訳	永野 一葉	107



根上 真依

保坂 千鶴子

【監訳・解説】 渡部 重美

論文査読・審査員一覧	127
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略	128
編集後記	編集委員会 131

**\* 第 29 号 (2016 年 6 月) \***

巻頭言	上田 浩二 i
-----	---------

〈論文〉

Fremdsprachen-User und Lernenaunomie für QOL? - Überlegungen zur Einbeziehung der Lebenswirklichkeit der Lernenden … …………… Shiro KATTO (甲藤 史郎)	3
ザンクト・ガレン修道院図書館所蔵典礼用福音書写本 『ザンクト・ガレン修道院図書館 51 番写本 Cod. Sang. 51』研究 …… …………… 福島 綾太	23
ホーフマンスタール「手紙」における水の比喩について ……	近藤 晏奈 51

〈2015 年度提出修士論文要旨〉

Eine Betrachtung über die Tarifaueinandersetzung in Westdeutschland in den 1980er Jahren - Eine kritische Untersuchung zum Korporatismus am Beispiel der IG Metall und ihrem Kampf für Lohnerhöhung und Arbeitszeitverkürzung …… …………… Chizuko HOSAKA (保坂 千鶴子)	87
論文査読・審査員一覧	95
「BRÜCKE の会」会則・投稿規定概略	96
編集後記	編集委員会 99

以上